　　　　　年　　月　　日

**公益社団法人広島県建築士会　広島県地域貢献活動助成申請書**

(公社)広島県建築士会　御中

申請者　　　　　　　　　　　　　㊞

広島県建築士会地域貢献活動助成を受けたいので、以下のとおり申し込みます。

|  |  |
| --- | --- |
| 1.活動団体の名称  名　称 | 設立　　　年　　月　　日 |
| 所在地　〒  　広島県 | |
| TEL： | FAX: |
| 2.代表者  氏　名 | |
| 住　所　〒 | |
| TEL： | FAX: |
| 3.連絡責任者  氏　名 | |
| 住　所　〒 | |
| TEL： | FAX: |
| 携帯TEL： | |
| e-mail： | |
| 4.事業名称 | |
| 5.助成対象事業区分（該当に○をして下さい）  ・地域のまちづくり　・歴史的遺産の再生と活用　・景観の保全　・居住環境の保全･改善  　・福祉環境の整備　　・地域の住宅づくり　　　　・地域防災　　・自然環境の保全・整備  　・地域経済の活性化　・農山漁村又は中山間地域の振興　・その他（　　　　　　　　　　　） | |
| 6.活動者数  　　士会会員　　　名　　　士会非会員　　　名　　　合計　　　　名 | |
| 広島県建築士会・会員氏名（多数の場合は別紙でも可）  ・  ・ | |
| 7.助成希望額　　今年度　　　　　円　（　単年　・　継続　）  　　　　　　　　　＊継続の場合　　年継続の　　年目 | |
| 8.事業費　　　　今年度　　　　　円 | |
| 9.建築士人材派遣  　・希望しない  　・希望する　(専門分野、指導を求める具体的内容、人数(3人以内)を記入してください) | |
| 10.団体の活動目標（将来計画） | |
| 11.団体のこれまでの実績 | |
| 12.今回申請する具体的内容 | |
| （1）事業の目的・内容  （実施する事業に建築士が参画することがふさわしく、また事業の内容を分かり易く理解し易いように詳細に記述して下さい。  活動センターからの助成に見合う事業のみ記述し、他団体等からの助成に見合う事業は記述しないで下さい。） | |
| （2）事業実施のスケジュール  　（今年度の事業開始から完了報告までの期間中の範囲で主要な事業について順を追って記述して下さい。） | |
| （3）事業を実施した結果得られる成果と効果 | |
| （4）他の協力団体・グループ等がある場合に記入して下さい。  ・有り（団体名）  ・無し | |
| （5）他からの助成金の有無について（有の場合予算書の収入の部、その他の資金欄に記入して下さい。）  ・有り（助成事業団体名及び金額）  　（助成事業団体名）　　　　　　　　　　　　　　　（金額）  ・無し | |
| 13．その他添付書類（収支予算書の後に添付して下さい。）  （1）活動者全員の名簿（士会員も含めた名簿の場合は士会員を明記して下さい。行事参加予定者は除  きます。）  （2）組織図  （3）今回の申請事業内容を理解しやすくするために、これまでの活動実績があれば活動の内容を解り  やすく表現した写真、パンフレット等を添付して下さい。  （4）団体の規約・定款等があれば添付して下さい。 | |

**収　支　予　算　書**

１．収入の部

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 収入科目 | 予算額 | 積算内訳 |
| Ａ　地域貢献活動助成金 | 円 |  |
| Ｂ　自己資金 | 円 |  |
| Ａ＋Ｂ　助成対象計 | 円 |  |
| Ｃ　その他の他団体からの  　　助成金等 | 円 |  |
| Ａ+Ｂ+Ｃ　　　合　　計 | 円 |  |

1.自己資金・その他の助成金等について内訳欄に具体的に収入項目・助成先・金額を記入して下さい。繰越金は自己資金に含みません。

2.活動センターでの助成決定額をＡ欄の助成金として下さい。

２．支出の部

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 支出科目 | 予算額 | 積算内訳 |
| 助成対象項目 | Ａ+Ｂ |  |  |
| （例示）  資料作成費  会場費  印刷費  講師謝礼  通信費  消耗品費 |  |  |
| Ａ+Ｂ　助成対象計 | 円 |  |
| 助成対象外項目 | Ｃ |  | 必要に応じて記入して下さい |
| （例示）  役務費  旅費  その他 |  |  |
| Ｃ　助成対象外計 | 円 |  |
|  | Ａ+Ｂ+Ｃ　事業全体　合計 | 円 |  |

1.助成対象外の事業が無い場合はＣ欄の項目は記入不要です。

2.助成対象項目は例示を参考に事業内容から判断して最も適していると思われる項目で作成して下さい。

3.内訳欄は支出予算額ごとに想定される積算内訳を記入して下さい。

4.Ａ＋Ｂの助成対象計の金額は収入の部、支出の部共同額として下さい。

**収　支　予　算　書（例）**

１．収入の部

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 収入科目 | 予算額 | 積算内訳 |
| Ａ　地域貢献活動助成金 | 100,000円 |  |
| Ｂ　自己資金 | 100,000円 | 会　費　会員25名×1,000円=25,000円  協賛金　5社×10,000円=50,000円  繰入金　25,000円 |
| Ａ＋Ｂ　助成対象計 | 200,000円 |  |
| Ｃ　その他の他団体からの  　　助成金等 | 100,000円 | ○○団体からの助成金50,000円  △△町からの地域振興助成金 40,000円  自己資金　10,000円(寄付金) |
| Ａ+Ｂ+Ｃ　　　合　　計 | 300,000円 |  |

1.自己資金・その他の助成金等について内訳欄に具体的に収入項目・助成先・金額を記入して下さい。繰越金は自己資金に含みません。

2.活動センターでの助成決定額をＡ欄の助成金として下さい。

２．支出の部

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 支出科目 | 予算額 | 積算内訳 |
| 助成対象項目 | Ａ+Ｂ |  |  |
| 会議費  資料作成費  会場費  印刷費  講師謝礼  通信費  消耗品費 | 3,000円  10,000円  17,000円  150,000円  20,000円  15,000円  5,000円 | 打ち合わせ3回予定  200部×50円  会場使用料  パンフレット500部×300円  2名×10,000円（交通費共）  電話代・郵送料  文具代 |
| Ａ+Ｂ　助成対象計 | 200,000円 |  |
| 助成対象外項目 | Ｃ |  | 必要に応じて記入して下さい |
| 役務費  旅費  会議費  予備費 | 30,000円  30,000円  20,000円  20,000円 | 事務アルバイト料  □□大会出席旅費  ボランティア参加者お茶代 |
| Ｃ　助成対象外計 | 100,000円 |  |
|  | Ａ+Ｂ+Ｃ　事業全体　合計 | 300,000円 |  |

1.助成対象外の事業が無い場合はＣ欄の項目は記入不要です。

2.助成対象項目は例示を参考に事業内容から判断して最も適していると思われる項目で作成して下さい。

3.内訳欄は支出予算額ごとに想定される積算内訳を記入して下さい。

4.Ａ＋Ｂの助成対象計の金額は収入の部、支出の部共同額として下さい。